

自然保育推進事業 活動報告書

1 団体名 地球っ子くらぶ・善隣館 (呉市西中央5丁目13-3)

2 今年度の活動概要

(1) 環境構成に関すること

常時遊んでいる公園の整備は年間を通じてしており、こどもが安全で過ごしやすい遊び場環境を作っています。公園内にはびこっている外来種の藻、アマゾンフラッグピットを除去し、草を取り、泥を中島にあげて流れている水(地下40メートルから市がくみ上げている)の通りが確保できるようにと、保護者、幼児、小学生が合同で作業をしました。作業中幼児はヤゴ、オタマジャクシ、ザリガニ等々を見つけて大騒ぎでしたが、きれいに水が通る状態を見て、「きれいになった」と喜ぶ様子が見られました。



通り向かいの公園はホテルを街中でも育て、見られるようにビオトープ化していますが、そこにも外来種の藻、ザリガニが棲むようになり、年長組の子どもが溝のアマゾンフラッグピットを取り除いたり、ザリガニを見つけて捕ったりしました。子ども達はそれで遊んだり、持って帰って飼ったりしました。

いつも公園の枯れ葉等をきれいに集めて取り除いて下さっていたおじさんが怪我でできないと聞き、みんなで、枯れ葉を集めて腐葉土にするようにしました。枯れ葉だらけになって走ったり鬼ごっこをしたりできないこともあったが、きれいになり、改めて日頃のおじさんの働きにも感謝がわいたようです。

(2) 特に印象敵だった遊びの事例に関すること

春、新年度が始まり子ども達は毎日のように近くの公園、荘山田村自然公園へと、花見、おいしいものみつけいちごやたけのこ(ハチク)、サクランゴや枇杷を求めて散歩、探険を重ねていた。しかし、7月3日、突如豪雨災害に襲われました。館自体は、断水もなく、隣の公園も無事でしたが、向かい側の通称「山の公園」では崖が崩れ、弓道場裏では土砂が崩れ落ち、そこをイノシシが荒らしていました。又荘山田村自然公園に行く途中で崖崩れがあったり、民家が壊れていたり、行くことはためられる状況になりました。二河峡へ行く道筋は、川が蛇行してえぐられたり、たくさんの大きな石、小さな石が上流から



流されてきて異様な風景になりました。二河峡は急激な河川の勢いのために4メートルくらいの穴が掘りえぐられていて、とても恐ろしくて子ども達に見せたり、行くことはできない状況になりました。職員で何度か下見に行きましたが、毎年、7月、8月に予定していた合宿は、交通網の遮断と川、海の様子が不安定で断念せざるを得ませんでした。

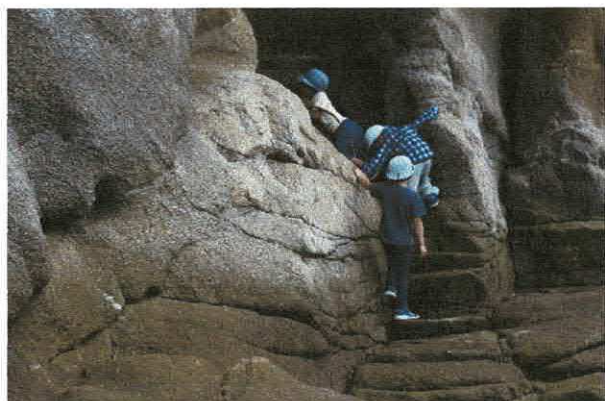
子ども達を不安にさせないように、館と地続きの公園で、

川に入ったり、水、泥、砂で遊んだり、環境整備をしたりという具合に過ごした。ようやく少し落ち着いた頃、例年は8月の夏期保育中に行う善隣館合宿を9月にピクニック主体の合宿に振り替えて9月13～14日に一泊二日で（年少組はデイキャンプ）行いました。二河川を二河峡とは反対の海方面に歩いて下ってゆきました。通り道の河川敷でバッタ、蝶、トンボを見つけて捕ったりして到着。幼児の目には分からないようでしたが、保育者の私たちの眼にはや



はり川がえぐれたり、石が流されて集められたり、橋桁の桎に木々が流れた着いたりという具合でした。川の中には入れないと判断してお弁当を食べて、公園で遊んで川の反対側を通って帰ることにしました。

「いつもとはちがう道を行こう」と、分かれ道になっては「どっちに行く？」と聞いて子ども達が進んだ方を選びました。「こっち！」と言われていつもはあまり通らない高架下に行くと「あっ、栗じゃ！」と駆け出す子ども達。近づいてみるとつやつやのまん丸の焦げ茶色の「トチの実」でした。ちょうど落ちたところで、初めて見るみんなは夢中になって拾い集めました。とっても新鮮な体験で大事そうに持ち帰りました。



10月に行った年中・年長組の「秋のにんじゃ合宿」は県民の浜で、コテージを借りて実施しました。海や山に探険に出掛けては、みかんやヤマブドウ、アケビを見つけて食し、大喜び。海に夕日が沈むのを見ながら夕食をとります。「わああ、まっかだねえ」「きれい」と思わず見とれる子ども達。その後、暗くなった夜、波の音を聞きながら探険。星を見て、月を見ては「つき」を歌い、怖いところは友達と手をつないで懐中電灯を頼りで歩きました。昼間何でもないところが、怖く、神秘的で、子ども達を異次元に連れて行きました。

朝も昼も夜も「忍者修行」をして遊び、食事を作り掃除をして、すっかり大きくなった子ども達でした。探検中に島のおじさん、おばさんに会い、声を掛けられたり、思いがけず、みかんを頂いたのも印象深く、ゆったりとした時間の流れの中に心身を浸した体験になりました。



(3) その他、自然体験活動の充実に向けて取り組んだこと

年間を通じて二河公園自然観察会で、環境を整備したり、自然について学ぶ機会を持っています。毎月第2土曜日は「二河公園自然観察会」があります。2000年から「ひろしま自然の会」「消費者協議会」「片山町自治会」と共に「地球っ子くらぶ・善隣館」も地域の施設として発足に関わり、職員が運営メンバーをして参加しています。直接幼児保育と関わりがあるわけではないのですが、小学生くらぶ、指導者のおとな、地域のおとなや子ども、幼児の親子参加が自由になされて、環境整備、ホテルの育成、

生き物調べ、樹名板設置、春の七草、秋の七草等自然に関する様々なプログラムを行っています。このことの体験や感動が日常の保育で活かされたり、生き物や食べ物、身近な自然への理解や注意事項（野外で食する物はおとなに見せてから。知らない生き物に触らない等々）を獲得できるようにおとな達で守るようにしています。

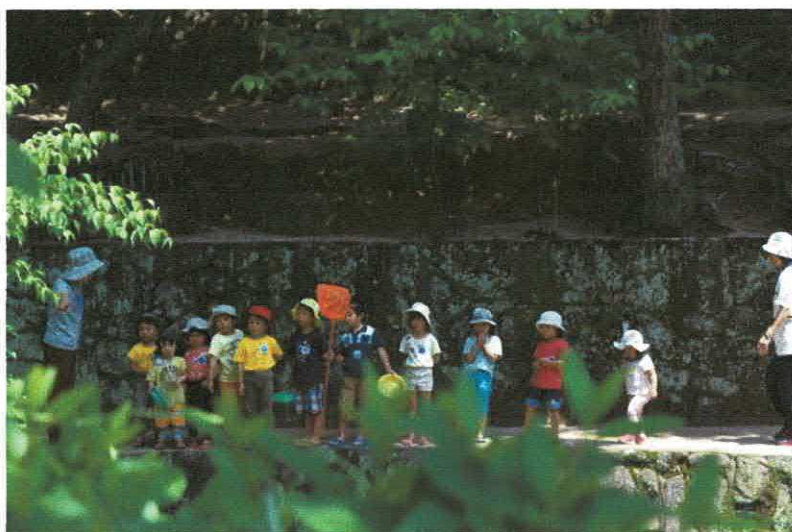


二河川生き物調べ

魚、水生生物をみんなで探す。川の上流から中流までを調べました。

ひろしま自然の会のリーダーさん達

いろんな専門分野の方々にやさしく捕り方、見つけ方、飼い方も教えてもらいました。



隣接する二河公園(山の公園で)

ザルで「悪い草(アマゾンフラッグピット)あつめて取ったり、ザリガニを探して取ったりしました。